



140-0014 東京都品川区大井4-26-4
一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会
代表理事 柴谷 健
TEL 080-5198-6188

TAP JAPAN OPEN 2020 ご協賛のお願い

私たち一般社団法人日本障がい者立位テニス協会（以下、JASTAと称す）は、2020年5月22日（金）～24日（日）（事前練習日5月20日（水）～21日（木））に表記大会を千葉県成田市中台運動公園にて主催いたします。この大会は、手や足、体幹に障がいを持つ選手が車いすを使用せず立って行う「立位テニス」の世界大会です。障がい別にカテゴリー分けされ、同じ程度の障がい者同士が対戦し、出場選手にはTAPポイントが付与され世界ランキングに反映されます。これまでこの競技の世界大会は、南米、北米、欧州では開催されておりました。アジア・オセアニア地域で初めての開催となります。

「立位テニス」は、パラリンピックの正式種目入り、国際テニス連盟からの公認を目指し、世界中の仲間と研究発展に取り組んでいる注目のパラスポーツです。2019年12月にアメリカのテキサス州ヒューストンで開催されたTAP USA OPEN 2019では、6名のJASTA所属の日本人選手が出場し、その中で5名が優勝、準優勝を飾っております（2019大会ではシングルス・ダブルスが開催）。今大会でも、その活躍が期待されます。どうぞ、私たちと一緒に、この競技を育ててください。

今大会をより充実したものにすべく、ご賛同いただける関係各位皆様よりご協賛のお力添えを賜りますようご検討のほど、お願い申し上げます。

開催概要

別紙、大会企画書をご参照ください。

詳しい大会要項は現在準備中です。用意出来次第、配信いたします。

ご協賛のメリット

1. 御社の国内外への広報宣伝活動
2. パラスポーツを通じた社会貢献活動

お申し込み締め切り

2020年4月20日（月）

お申し込み・お問い合わせ

JASTA渉外担当 柴谷玲子（しばたに れいこ）

090-3918-5148 rworks@tky.3web.ne.jp

JASTA総合問い合わせメール info@jastatennis.com

TAP JAPAN OPEN 2020ご協賛メニュー

メニュー	Platinum	Gold	Silver	Bronze
ご協賛企業フィー	50万円	30万円	20万円	10万円
募集数	3社	6社	8社	10社
前夜祭参加（ソーシャルミキサー※1）	○	○		
セレモニーでのスピーチ権	○			
大会会場に社名バナー掲出	○	○		
フォトコールバックパネルにロゴ掲出	○	○		
大会会場に専用席確保	○			
JASTAのfacebookページで 企業紹介記事掲載	○	○		
大会ウェブサイトページに社名掲出・ リンク	○	○	○	○
大会パンフレット広告掲載（見開き） ※単独申し込みの場合 80,000円	○			
大会パンフレット広告掲載（全面1P） ※単独申し込みの場合 50,000円		○	○	
大会パンフレット広告掲載（1/2P） ※単独申し込みの場合 30,000円				○
サンプリング・ノベルティー配布	○	○		
物販販売・デモブース	○	○		
入賞選手と2ショット写真（使用権付き）※フ ォトコールバックパネル前にて	○	○	○	○
大会ポスター（A2）	○20枚	○10枚	○3枚	○1枚
大会パンフレット（A4たて）	○20部	○10部	○3部	○1部
大会フライヤー（A4両面）	○ 500枚	○ 100枚	○ 50枚	○ 10枚
大会報告書（収支決算書付き）	○	○	○	○
特典数	15	13	7	7

※1 協賛企業・団体様と出場選手がペアを組んで行う交流テニスゲームイベントです（別紙案内参照）
協賛メニューは2020.01.06現在、関係先と調整中のものも含まれています。ご了承ください。

Platinum・Goldご協賛メニュー 前夜祭ソーシャルミキサーについて

競技や障がいについて、楽しみながら理解を深めて頂くための機会として、大会前夜に、応援して下さっている協賛企業・団体の方などと、大会出場選手がペアを組んで行う交流ダブルステニスのイベント「ソーシャルミキサー」を開催します。国内外の立位テニス選手のプレイを直接体験して頂けるまたとないチャンスです。是非とも、オンコートでの交流をお楽しみください。

会場は、大会の雨天予備会場であるKen'sインドアテニススクール成田です。インドアのカーペットコート2面。予定では、2時間の間に、4ゲーム交代、1コートで3試合程度を行いたいと考えています。イベントは現在企画中ですので参加をご希望頂いた方には、後日詳細をお知らせいたします。

日時：2020年5月21日（木）17：00～19：00

募集：12名（Platinum・Goldメニューへご協賛頂いた企業・団体様、1企業3名まで）

場所：Ken's インドアテニススクール成田

千葉県成田市ウィング土屋156番2号

費用：無料（ご協賛企業フィーに含まれます）

会場へのアクセス

電車の場合

JR成田駅・京成成田駅よりイオンショッピングセンター行きのバス約8分（1時間に5～6本運行）
イオンショッピングセンター成田のバス停下車、徒歩約4分 ケースデンキ様、ヤマダ電機様の並び

車の場合

東関東自動車道「成田インター」より成田方面に向かって約7分、国道1号線「土屋交差点」より約5分
イオンショッピングセンター成田よりすぐ

※会場には無料駐車場がございますが、台数に制限があるため、できる限り乗り合いなどにご協力ください。

お申し込み方法

「TAP JAPAN OPEN 2020 協賛申込書」の表の一番下にある「ソーシャルミキサー」の欄に、参加希望の出場人数に○をつけてください。参加人数も限りがございますので、ご希望に添えない場合もございます。その場合、大会本部よりご相談差し上げますので、予めご了承ください。



TAP JAPAN OPEN 2020 協賛申込書

2020年 月 日

ふりがな				
会社名				
ふりがな				
ご担当者名				
ご住所	〒			
お電話番号				
E-mail				
協賛金額 (いづれかに ○)	Platinum 50万円	Gold 30万円	Silver 20万円	Bronze 10万円
振込予定日	西暦 2020 年 月 日			
請求書	要 ・ 不要			
領収書	要 ・ 不要			
ソーシャルミキサー	参加 (1・2・3 名) ・ 不参加			

<協賛金お振込先>

大会準備の関係で2020年4月30日（木）までにお振込頂けますと幸甚です。

銀行名・支店名 三菱UFJ銀行 大井支店

口座番号 普通 0308580 口座名義 一般社団法人日本障がい者立位テニス協会
(シヤ)ニホンショウガイシヤリツイテニスキヨウカイ

※ 協賛金申込みによって一般社団法人日本障がい者立位テニス協会(以下JASTA)が取得する個人情報については、JASTAが責任を持って保管の上、本事業の実施に係る諸連絡にのみ使用いたします。

TAPとは

TAPとは、南米チリの公用語であるスペイン語で「Tenis Adapted de Pie」の頭文字を取ったものです。Tenisはテニス、Adaptedは適応（意味合いとしては障がい）、de Pieは立っている、という意味で、日本語に訳すと「障がい者立位テニス」となります。

身体障がい者立位テニスをパラスポーツとして確立させることを目的として、南米チリのEnzo Amadei Jerez氏が中心となって2013年、TAP FOUNDATIONが立ち上げられました。世界規模での競技者の発掘、調査研究、大会企画、TAP POINT付与（WORLD RANKINGに反映）を行なっています。

TAP POINT 対象大会

2015年より立位テニス国際大会が開催されるようになりました。TAP WORLD RANKING に反映されるTAP POINTが付与される国際大会は、2019年10月までに9回開催されています。TAPとつく大会は、立位テニスだけの国際大会。MALMO OPENは、スウェーデンのマルメ市が主催し、毎年2月に開催される障がい者スポーツ大会です。様々な障がい者スポーツ競技が行われており、2017年より立位テニスが種目入りしています。

※ 表内、出場者数のうち（ ）内の人数が日本人選手数

開催日程		大会名	開催地	出場者数	参加国
2015	4.10～11	TAP CHILE OPEN	Chile Santiago	32名	メキシコ・ペルー・ アルゼンチン
	6.27～28	TAP ARGENTINA OPEN	Argentin	20名	アメリカ・ポルトガル・ 南アメリカ・オーストラリア
2016	7.30～31	TAP BRAZIL OPEN	Brazil	23名	チリ・ブラジル他
	12.9～11	TAP USA OPEN	USA Houston	28名 (2名)	アメリカ・チリ・アルゼンチン・ メキシコ・スペイン・ スウェーデン・オーストリア他
2017	2.9～11	MALMO OPEN	Sweden Malmo		スウェーデン・スペイン オーストリア・アメリカ他
	12.8～10	TAP USA OPEN	USA Houston	25名 (3名)	アメリカ・チリ・フランス ブラジル・メキシコ・日本他
2018	2.9～11	MARLMO OPEN	Sweden Marlmo		スウェーデン・オーストリア スペイン・アメリカ他
	12.7～9	TAP USA OPEN	USA Houston	25名 (6名)	アメリカ・チリ・ブラジル スウェーデン・日本他
2019	2.8～10	MARLO OPEN	Sweden Marmo		スウェーデン・オーストリア チェコ・チリ他
	12.6～8	TAP USA OPEN	USA Houston	26名 (6名)	アメリカ・メキシコ ブラジル・チリ・日本他
2020	2.8～10	MALMO OPEN	Sweden Malmo		日本人選手が初めてエントリー
	5.22～24	TAP JAPAN OPEN	JAPAN Narita		
	未定	TAP USA OPEN	USA 未定		

TAP WORLD RANKING PLAYERS



(2019年10月現在)

最新のTAP WORLD RANKINGを元に、TAP POINTを持つ選手数を国別、カテゴリー別に表にしました。これまでの国際大会は、南米、北米、ヨーロッパで開催されています。大会開催地の周辺国からの出場が多いことがわかります。世界的な競技者を獲得するためには、今まで国際大会が行われていない地域での開催が望まれています。カテゴリーB、Cについては、国際大会では開催されない場合もあります。障がいによる運動機能制限が大きいカテゴリーでは、長距離の移動が難しい選手が多いためと思われ、国内大会で出場者はいても、国際大会への上場選手が少ない傾向にあります。現在、TAP POINTの有効期限は取得より3年間と聞いています。

地域	国名	カテゴリー A1	カテゴリー A	カテゴリー B	カテゴリー C	合計
南米	チリ	3	18	8	2	31
	アルゼンチン	5	8			13
	ブラジル	4				4
	セントクリストファー ネーヴィス	1				1
北米	アメリカ	11	5	1		17
	メキシコ	1	2			3
ヨーロッパ	スウェーデン	3	3			6
	スペイン	2	1			3
	フランス	1				1
	ポルトガル		1			1
	オーストリア	7	3			10
	チェコ		1			1
アフリカ	南アフリカ	1				1
アジア オセアニア	オーストラリア		1			1
	日本	4	3			7
合計		43	46	9	2	100

立位テニスの現況について

障がい者テニスは、1980年代に車いすも含め、全ての障がい者が一緒になって始められました。車いすテニスだけが早期にITF認可、パラリンピック種目入りを果たし、パラスポーツとしての地位を獲得しました。

車いすに乗らない（乗れない）障がい者テニスにとってのテニスは、現在でも障がい者と健常者が一緒に楽しめる交流やリハビリを目的とする福祉的な意味合いのものが主流です。日本で（特に関東）で盛んに行われているのは障がい者と健常者がペアを組んで行う「ニューミックスダブルス」であり、大会も頻繁に開催されています。

しかしそれは、身体、聴覚、内部、知的、精神など多様な障がい者が混在し、ペアパートナーとなる健常者の競技レベル差も大きく、客観的に見て、フェアな勝負の場とはなっていません。それゆえ、競技志向の高い障がい者にとっては物足りなく、立位テニスで自分の実力を試す場が欲しいと考えるようになってきました。特に片腕、片麻痺、深く腰掛けることができないなどの障がいでは、車いすテニスはできないため、パラスリートとしての活躍を望む場合、他競技に転向してしまう事もあります。

海外では、2013年に設立されたTAP FOUNDATIONの働きかけによって、2015年から国際大会が開催されるようになりました。医学的に同じ程度の障がい別にカテゴリー分けを行い、同じカテゴリーの選手同士が自分の力だけで勝敗を競い、独自のTAPポイントによりランキングされるコンペティティブな大会です。

2016年のオリンピック・パラリンピックが開催されたブラジルでは、オリパラムードが高まっている開催直前に、TAP BRAZIL OPENが開催され、競技の存在を印象づけました。アメリカでは全米テニス協会が立位テニスを正式に認め、2019年から車いすテニスの国内大会には立位のクラスも同時開催することを決めました。Cincinnatiで8月に開催されたWestern & Southern Openでは、観客で埋め尽くされた決勝戦の前座で、Adaptive Standing Exhibition Matchが行われ、アメリカの立位テニス選手がデモンストレーションを行っています。国際テニス連盟にも立位テニス認可について働きかけています。

2020年東京パラリンピックでは、同じラケットスポーツであるバドミントンが「車いす部門」「立位部門」が正式種目入りしました。卓球にも「車いす部門」「立位部門」があります。

このような流れから、近い将来、車いすテニス同様、立位テニスがパラスポーツとしての地位を獲得することは間違いないと思われます。そのため、2018年8月、一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会を設立し、パラリンピックの種目入りに向けて、日本でも競技の認知度向上、競技者発掘、研究、強化を行っています。

お問い合わせ

JASTA渉外担当 柴谷玲子（しばたに れいこ）

090-3918-5148 rworks@tky.3web.ne.jp

JASTA総合問い合わせメール info@jastatennis.com